

# 北大フロンティア基金 活動報告書

令和5年度



北海道大学

## CONTENTS

### 目次

02	総長挨拶
03	実施事業報告 01 新渡戸カレッジ副校長 弘和順 新渡戸カレッジ教頭 ラフェイ・ミシェル
05	実施事業報告 02 水産科学研究院教授 都木 靖彰
07	実施事業報告 03 北海道大学病院助教 泉 岳
09	実施事業報告 04 農学研究院教授 愛甲 哲也
11	北海道大学 創基150周年応援メッセージ
13	北大フロンティア基金 令和5年度の概要
15	創基150周年記念募金
17	支援事業一覧
19	クラウドファンディング
21	寄附申込方法
22	税制上の優遇措置
23	遺贈について
24	寄附者の皆様への御礼



## 北海道大学の次の 150年を見据えて

北海道大学総長 審全清博、



平素より北海道大学の教育研究を支える「北大フロンティア基金」に対して、深いご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

このたび、令和5年度の北大フロンティア基金の活動報告書を取りまとめましたので、ぜひご一読いただければ幸いです。

既にご存知の方も居られることと思いますが、本学は令和8(2026)年に創基150周年を迎えます。北大フロンティア基金は、2023~2026年度の4年間、次の150年を見据えた記念事業を進めるため、「創基150周年記念募金」として活動しています。

その活動の1年目にあたります令和5年度は、大切なステークホルダーである皆様のおかげをもちまして、約7.8億円のご支援を賜りました。心から御礼申し上げます。

本学は、北海道の広大な土地に唯一の総合大学として発展し、他に類を見ない個性を形成してきました。その結果、①世界最大級の研究林と豊かな海洋研究に代表されるフィールド研究、②世界最先端をリードする複数の卓越研究、③地域課題解決を目指す社会展開力、④SDGsに繋がるサステイナビリティの考えを大学創成期から持っていたことなど、極めて個性的な強みが醸成されてきました。これにより、2024年6月に発表となりました「THEインパクトランキング2024」において、総合ランキング世界72位となり、国内では5年連続1位を獲得しています。

本学は、このアイデンティティを、科学技術における教育・研究の卓越性「Excellence」と、教育・研究を社会に広げ地域課題を解決する社会展開力「Extension」という2つの軸の座標系で捉え、好循環・エコシステムを創成し、次の150年に向けて大きく飛躍させることを目指しています。

今後は、本学の中長期的ビジョンである「HU VISION 2030」を通して、世界共通の目標である「持続可能なWell-being社会」の実現に向けて力強く歩みを進めます。

今後とも、皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

01

新渡戸  
カレッジ

## 特別対談

新渡戸カレッジ副校長

彌 和順 教授

新渡戸カレッジ教頭

ラフェイ・ミシェル 教授

グローバルリーダーを  
目指して。世界へ羽ばたく北大生のための  
特別教育プログラム

**彌先生** 新渡戸カレッジは北大の特別教育プログラムとして2013年に創設されました。幅広い教養を身につけながら、将来グローバルリーダーとして活躍できる学生を育てるためのプログラムで、学部等の垣根を越え、色々な専門分野をもつ学生が集まっています。北大の学生全体の男女比を見ると男性の方が多いのですが、新渡戸カレッジ学部カリキュラムの男女比はちょうど半々、また、大学院カリキュラムの日本人と留学生の比率も半々であり、その意味でもバランスのとれた比類なきプログラムです。

**ラフェイ先生** キャンパス外での活動も多いです。「フェローゼミ」では、石川めぐみフェロー(※)が出した課題について、まずはグループで現地視察を行いました。テーマは「アドベンチャートラベル」で、学生たちは札幌市の石山緑地と札幌市アイヌ文化交流センター「ピリカコタン」を視察しました。



副学長、高等教育推進機構新渡戸カレッジ教育研究部長  
研究分野は、中国古代思想、『論語』解釈史。近年は、新渡戸稻造『武士道』に  
関心を広げ、同書における儒教の影響などについても研究している。

その後、ゲストスピーカーの講義を聞き、アドベンチャートラベルと北海道のツーリズムについて考え、12月の公開講座シンポジウムでは全員が自分の考えを発表しました。

**彌先生** 自分自身のキャリアを非日常的な空間で考えるために、日高や深川の研修施設で1泊2日の合宿を行っています。その場には、フェローの他に、OB・OGも参加し、様々な話を聞いたうえで学生たちが自分の考えを発表する時間を作りました。帯広の十勝千年の森では、ガーデナーの指導のもと、実際に熊笹を刈るなど身体を動かして「自然とは何か」を考えるゼミを行いました。

**ラフェイ先生** 札幌農学校時代のような授業です。

**彌先生** 教室でのグループワークももちろん大切ですが、学外に飛び出すというのは学生にとって良い経験になると思っています。

※フェロー：国内外の様々な分野でバイオニアやリーダーとして活躍している国際経験豊かな同窓生から選ばれたメンバー。主に学部学生に携わっている（大学院生に主に携わっているのは「メンター」）

新渡戸カレッジへの寄附はこちらから▶



研究分野は、明治期プロテントキリスト教、特に内村鑑三と札幌農学校。  
近年は、明治期の女性に関心を持ち、どのようにキリスト教に影響され、  
そして日本の社会にどのように影響を与えたかについて研究している。

**ラフェイ先生** 英語に関しては、たとえ力があったとしても最初は自信を持ってないという学生もいます。新渡戸カレッジでは大学院の授業は全て英語で行いますが、「自分の英語は十分か……」と心配しながらでも挑戦することがスタートです。プログラムを通して自信をつけてほしいと思います。

## 新渡戸カレッジの将来



新渡戸カレッジ大学院授業風景

## フェロー・メンターの存在

**彌先生** フェロー・メンターは学生時代に留学経験のある方、海外で長く仕事をされてきた方、リーダーとして活躍されている方にお願いしています。

**ラフェイ先生** 個性的で魅力的な方々です。石川裕一フェローはわたしの出身地であるアメリカのアイダホ州にいらっしゃったこともあり、「私たちにはPOTATOコネクションがあるね」とよく話しています。とても面白い方で、英語が堪能なのはもちろん、ボランティア精神も強く学生の良い相談役になっています。同年代の人と話すことが多い日本人の学生にとって、フェロー・メンターとの交流は、幅広い年齢・職業の人と話すチャンスだと思います。

「違い」に気づき、コミュニケーション  
スキルを磨く。それが留学にいきてくる。

**ラフェイ先生** 学生も教員も評価している大きな特徴は、横断的なプログラムであるということです。「文系」と「理系」というだけでも物事の見方がかなり違います。1年生のうちから他の学部の学生と一緒にグループワークに取り組むことで、その「違い」に気づき、「どうしたら相手が理解できるか」を考えるようになります。人間は全員自分と同じように考えていると思いがちですが、そうではないと気づくことで、コミュニケーションスキルが磨かれていく。それが留学にもいきてきます。また、そうした経験を通して、新渡戸カレッジ生は卒業しても良い意味で緩やかな繋がりを保っており、それが良いところだと感じます。

**彌先生** 在学中はもちろん、卒業してからも修了生同士が海外で再会したという話もよく耳にします。



**彌先生** 海外のオナーズプログラムは修了者に対して国際的な基準に基づく称号授与制度があり、新渡戸カレッジもその基準を採用しています。この質を保ち続けたいですね。「海外留学したい」という動機で入ってくる入校生が多いですが、それだけでなく、人間的に大きく成長してほしい。留学はそのための一つの方法で、最終的にはスケールの大きい人間を北大から世界に送り出したいです。

**ラフェイ先生** 10年新渡戸カレッジを運営し、今、やっと卒業生が「北大の教員」、「フェロー・メンター」として大学に戻ってくる日が近いと感じています。色々な年齢、色々な職業、色々な勉強をしてきた人が携わることで、学生も色々なことを学びます。1年生が2年生になり、チーチャーとして新たな1年生を手伝う小さなサイクルが、今後大きな輪に広がっていくことを期待しています。

水産科学未来人材育成館  
Fisheries Science Library and Museum Complex水産科学研究院  
都木 靖彰 教授

研究分野は、チョウザメ養殖、魚類コラーゲンの有効活用等。  
2022年度～水産科学研究院長を務めている。2022年度より  
「水産学部学生応援プロジェクト」を実施。

本の虫ではなくフィールドワークへ  
～でも、船は金食い虫？

水産科学は、「海を知り、人が海の恵みを効率的に利用する」ための科学です。人と海を繋ぐサイエンスとして、四方を海に囲まれた日本において独自の発達を遂げてきました。水産学部は、日本で唯一の北極や亜寒帯での教育・研究ができる「おしょろ丸」と、沿岸域での活動に適した「うしお丸」という2隻の練習船を活用して、水産科学分野の人材育成と国内外の大学・研究機関との共同研究を積極的に進めています。練習船に乗船することで、学生は海というフィールドを実体験します。まさしく、学生にとっては「特別な時間」を経験することになるのです。



航海の成功と無事を祈り見送る人々

しかし、これには多額のコストがかかることが悩みの種です。近年の不安定な世界情勢から練習船運航に必要な燃油代が高騰し、全国的に問題となっている電気代等の高騰よりも大きな影響を学部全体の教育・研究に与えています。



北極航海出港式

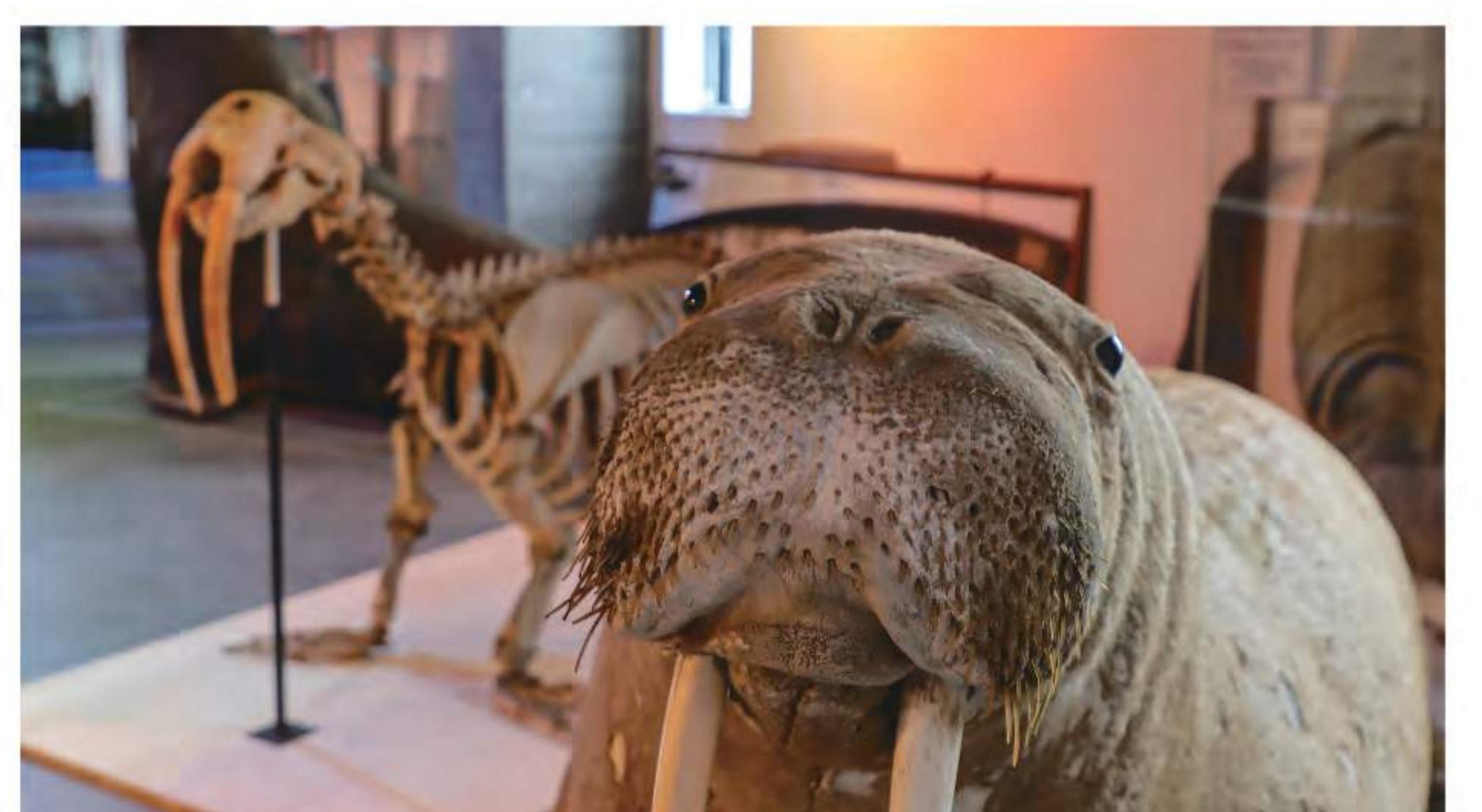


乗船中の学生たち

「特別な時間」を  
過ごせる学部を  
目指して

地域とともに  
未来を創る人材の育成にむけ  
新棟建築へ

今後は人が将来にわたって海の恵みを頂くために持続可能な水産業を創ることが重要ですが、それには水産業の現場となる「地域」の活性化が不可欠です。現在、水産学部はキングサーモンとコンブの完全養殖の確立と地域活性化を担える人材の育成をめざして、函館市や近隣の高等教育機関等と連携して函館マリカルチャープロジェクトを推進しています。令和4年には、事業の中核となる北海道大学地域水産業共創センターも設立しました。当センターは「若者が住みたくなるまちづくり」を進める地域振興のソフト面の核となり、地域の方々を巻き込んで学生とともに活動しています。そんな中、ハード面で学生や地域の方々が集う場所として、令和6年5月、図書館や水産科学館の機能を融合した水産科学未来人材育成館が完成しました。学生自らが大学で学んだことを活かし、地域の方々と共におこなう実践的な活動を支援する建物です。ここで過ごす時間も学生にとって「特別な時間」になってほしいと思います。



開館準備中の水産科学館エリア



水産科学未来人材育成館(外観)

皆様からのご厚情、ご支援が  
学びの大きな推進力になっています

水産学部の学生が過ごす「特別な時間」を経済的な面から支援する目的で、水産学部学生応援プロジェクトはスタートしました。「船を走らせれば走らせるほど赤字になるなんて、そんなに大変なら…」とご寄附を即決された同窓生の方や、学生の保護者様、関係者の皆様、並びに本プロジェクトの趣旨に賛同くださり、温かいご支援を頂戴したすべての方々に心から感謝申し上げます。皆様からのご厚情により、実習航海の海域を狭めたり、日数を削減したりする等の教育・研究への影響を最小限にとどめることができます。さらに、水産科学未来人材育成館では一層魅力的で効果的な教育環境の提供をめざして、貴重な図書や博物資料をアーカイブ化して皆さんにお届けする事業にも着手する予定です。引き続き、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



図書館エリアのハンドル式集密書架の前で

水産学部学生応援プロジェクト  
への寄附はこちらから ▶



## 03

支援を受けた  
研究者の声  
Researcher's voice北海道大学病院  
泉 岳 助教

集中治療部所属。  
研究分野は小児循環器・不整脈学。  
2023年12月には日本集中治療医学会  
集中治療科専門医試験に合格。

# 北海道の小さな命に 寄り添い続けるために

## 少しでも多くの小児患者さんを 受け入れるために

広大な北海道では様々な疾患を持つ患者さんが各地で日常を送っていますが、全ての専門医が各地に揃っているわけではありません。特に小児科は、血液・がん、心臓、腎臓、内分泌、神経、新生児など担当する領域が広く、地方の医師の多くが過酷な労働環境の中、神経と体力をすり減らしながら、診療にあたっています。そのような中で、北海道大学病院小児科は、多くの専門家が在籍する全国的にも稀有な病院です。



しかし病気が専門的かつ重症になるほど、各臓器の専門科が協力し、長時間の治療が必要となるため、北海道全体の難しい病気を持つ全ての小児患者さんを受け入れることは難しく、道内地方病院に負担をかけています。

## クラウドファンディングで 目標を大きく上回る金額を達成

北海道が抱える小児医療の問題を解決するため、2030年代前半完成予定の新北海道大学病院にてPICUをスタートさせるべく、クラウドファンディングに挑戦しました。小児集中治療室PICUに携わるのは多臓器不全の重症小児患者さんの治療を行う専門集団です。北海道にはPICUが20床程度必要と試算されていますが、現状は6床のみしかありません。まずはPICUを担当する医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士などの人材育成と道内PICUの現状について行政を含む皆様に広く知ってもらいたいという思いで取り組んだ結果、目標金額7,000,000円を大きく上回る23,060,000円のご寄附をいただきました。



## 反響は大きくPICUチームへの 参加希望者が続々と集まっています

2024年6月現在、いただいた寄附金は、スタッフの研修会、セミナー、学術集会などへの参加支援金として活用されています。専門資格として小児科医1名が集中治療科専門医を取得し、国内外のPICU関連学会での学会発表も進んでいます。また、集中治療専門臨床工学技士、集中治療専門理学療法士も1名ずつ誕生しました。さらに、集中治療医学会認証看護師取得に向けてあらたに2名の看護師が研修を開始したところです。クラウドファンディングの反響は大きく、道外からもPICUチームへの参加希望が寄せられています。いただいた多くの御支援が背中を押してくれていることは間違ひありません。本当にありがとうございます。



## PICUは地方医師の負担を減らし 北海道全体の子どもたちを救う

北大PICUが複数臓器に問題点を抱えた重症小児患者さんを担当することで、各専門分野の小児科医師たちが、それぞれの専門分野に専念することが可能になり、結果的に多くの患者さんを受け入れることが可能になります。そうすることで、地方の小児科医師の負担を少しでも軽減していくことができれば、それが北海道全体のこどもたちの健康を守ることに繋がると信じています。今後も北海道のこどもたちの未来のためにご協力をよろしくお願いします。



東大PICU実地見学にて

小さな命に寄り添い続ける。  
北海道で「小児集中治療室PICU」設立へ  
寄附はこちらから▶



## 04

支援を受けた  
研究者の声  
Researcher's voice農学研究院  
愛甲 哲也 教授

研究分野は、造園計画、都市近郊林の管理、野生草花の保全・利用等。特に公園の計画・管理。自然保護地域におけるレクリエーション利用のモニタリングとその管理、地域や市民との協働による自然公園、都市公園の管理のあり方にについて研究している。

「SDGs」の研究や教育を  
行動に結びつけていきたい

SDGsへの取り組みを評価するTHEインパクトランキングで、北海道大学は5年連続で国内1位を獲得し、関連する研究と教育、地域連携活動は国際的にも高く評価されています。しかし、生物多様性の劣化、都市の過密や環境負荷、農村・漁村の過疎や産業の衰退、途上国での貧困や気候変動、感染症などの課題は、複雑に関連し合い、大胆な社会の変革がなければ、ゴールには到達できません。学生たちは持続可能な社会の必要性は認識していても、具体的な取り組みの理解や実践には結びついていないことが多く、地域の課題を実感しているものはごく一部です。SDGs達成のためには、大学での研究と教育を、社会の変革や若い世代の気づきと結びつける必要があります。



余市エコビレッジの学び舎



野鳥観察のワークショップ

皆さまのご支援により  
多面的な「SDGs」を体感

ヨーロッパのエコビレッジを訪問した坂本純科さんが運営する余市エコビレッジは、「持続可能な暮らしと社会」を創造する技術や考え方を広めるため、農村体験からSDGs、環境に負荷の少ない暮らし、循環型経済などを学ぶ場となっています。太陽光パネルが設置された敷地内には、地域のエネルギー問題を議論する場も設けられ、大学院生も参加しています。みなさまからのご支援により、こちらの施設にて、複数回のセミナーや研修が実現しました。

SDGsを実感する  
体験型プログラム  
を実現

セミナー・研修の中で特に印象的だったのは、「修学旅行生の研修の事前モニター」としての活動です。北大の学生が事前にモニターとなり、プログラムの改善に寄与しただけでなく、その後、運営側として、実際に約200名の修学旅行生を受け入れました。リンゴ農家での作業体験、養鶏農家での循環型農業、漁場でのビーチコーミングなどの引率、ワークショップのファシリテーションを実体験し、研修や体験の効果の検証にも取り組みました。修学旅行生のアンケート調査では、「SDGsを意識して行動する」という回答が8割に増加し、意識に大きな変化があったことが読み取れました。「農業・漁業や地方の課題に気づき、自分で何ができるか考えたい」というコメントもあり、学生たちにとっては、運営側も体験することで、多面的にSDGsについて深く学ぶ良い機会となりました。



エコビレッジ周囲の景観とSDGsについてディスカッション

生物資源科学科 花卉・緑地計画学研究室  
への寄附はこちらから ▶



余市のリンゴ農家で様々な品種と温暖化について学ぶ

気づきから行動へ  
意識改革を社会貢献へ

1回の研修で認識や行動が変化し、持続可能な社会が実現するとは言えません。エコビレッジ会員の調査から、農業体験と学習の組み合わせが、より深い農地の多面的機能や農地の保全への認識につながるかわかりました。体験・学びを深めている学生たちは、未来に我が国を支える立場になります。持続可能な社会の実現に向けて取り組むべきことは多いですが、気づきの場、学習の場を次世代のためにできるだけ多く作ることもその一つです。ご寄附により地域とつながり、学びの機会をもてることに深く感謝し、SDGsと同じ2030年をターゲットとする本学のHUVISION2030でかかる科学技術における教育・研究の卓越性 "Excellence"と教育・研究を社会に広げ地域課題を解決する社会展開力 "Extension"の統合による持続可能なWell-being社会の実現にも貢献していきたいと考えています。



畠で学生と

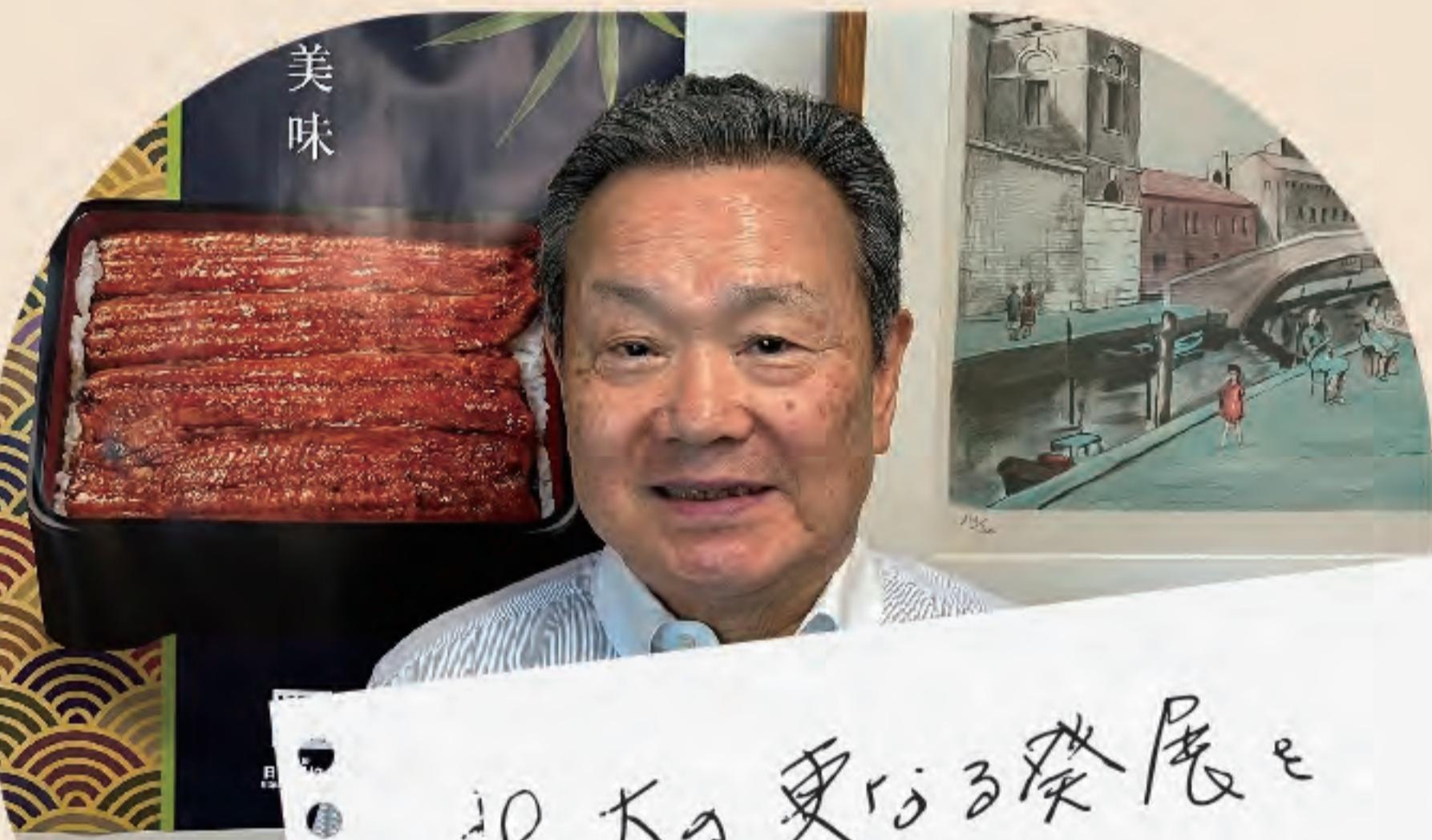
## 先輩たちから、母校にエール！

### 北海道大学 創基150周年応援 メッセージ



1876年に札幌農学校として開校して以降、北大の歴史を創ってきた卒業生のみなさまから、創基150周年を迎える北大へメッセージをお寄せいただきました。みなさまのお気持ち・激励を胸に、これからも新たな歴史のページを積み重ねてまいります。

#### 鰻一筋45年 森山 喬司 様



北大の更なる発展を  
期待します。  
2013年8月28日 森山 喬司

貧乏な樺太引揚者の息子として、道内の大学で且つ授業料が安いという選択肢で入学したので私に「大志」はなかった。でも60年安保の嵐が私に世の中を覗く眼を育ててくれた。新聞会卒を自称する落第生が糸余曲折あっても懸命に取り組む天職に恵まれ、鰻の業界に骨を埋められたことに満足している。道を切り拓いてゆく喜びを苦しみと共に若い人達にも味わってもらいたい。今は切に想う。

#### Profile

1964年経済学部卒。佳成食品株式会社創業者・現相談役。日本鰻輸入組合理事長。

#### 北大のキャンパスに魅せられて 宮崎 幹ミヒヤエル 様

北海道を旅行で訪れ、私のルーツであるオーストリアの自然と似ている北大のキャンパスに魅せられ入学しました。キャンパスで出会った仲間、仲間と共に過ごした時間は、私にとって大きな財産です。現在は会社を経営しながら、弁護士としてスタートアップやベンチャー企業をサポートしています。150周年を迎える北大。北大生の強みである自由な発想力、大きな目標に向かう力を存分に發揮して多くの若者に学んでほしいです。北大をずっと応援しています。

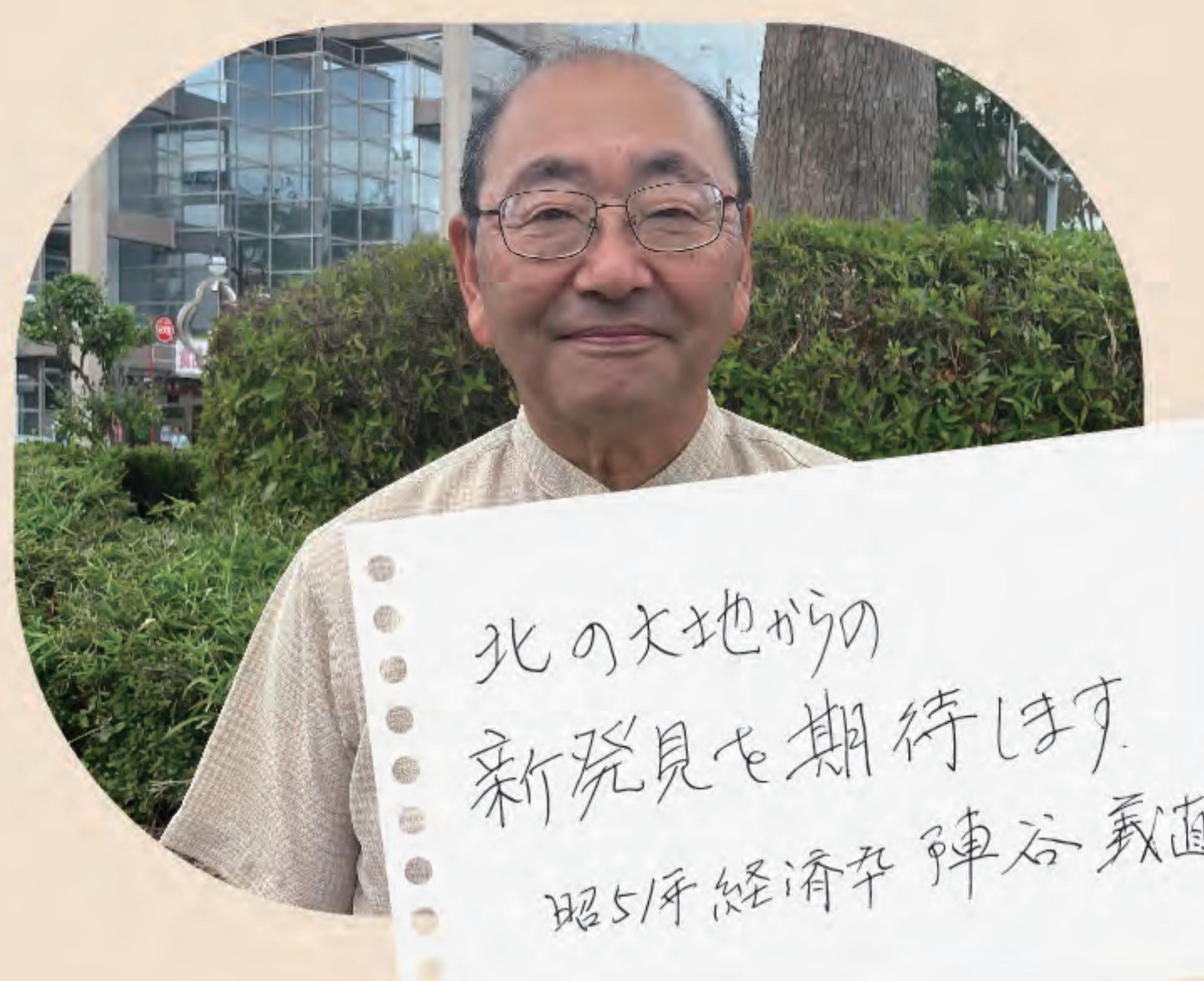
#### Profile

2003年工学部卒。宮香アロマテック株式会社代表取締役。弁護士。



世界に羽け!!  
2002.3 工学部卒  
宮崎 幹ミヒヤエル

創基150周年記念募金に、北大への思いや応援の言葉をいただいたことから、このページが誕生しました。  
是非応援の輪を広げていただけると幸いです。創基150周年記念募金と合わせて、皆様からのメッセージをお待ちしています。

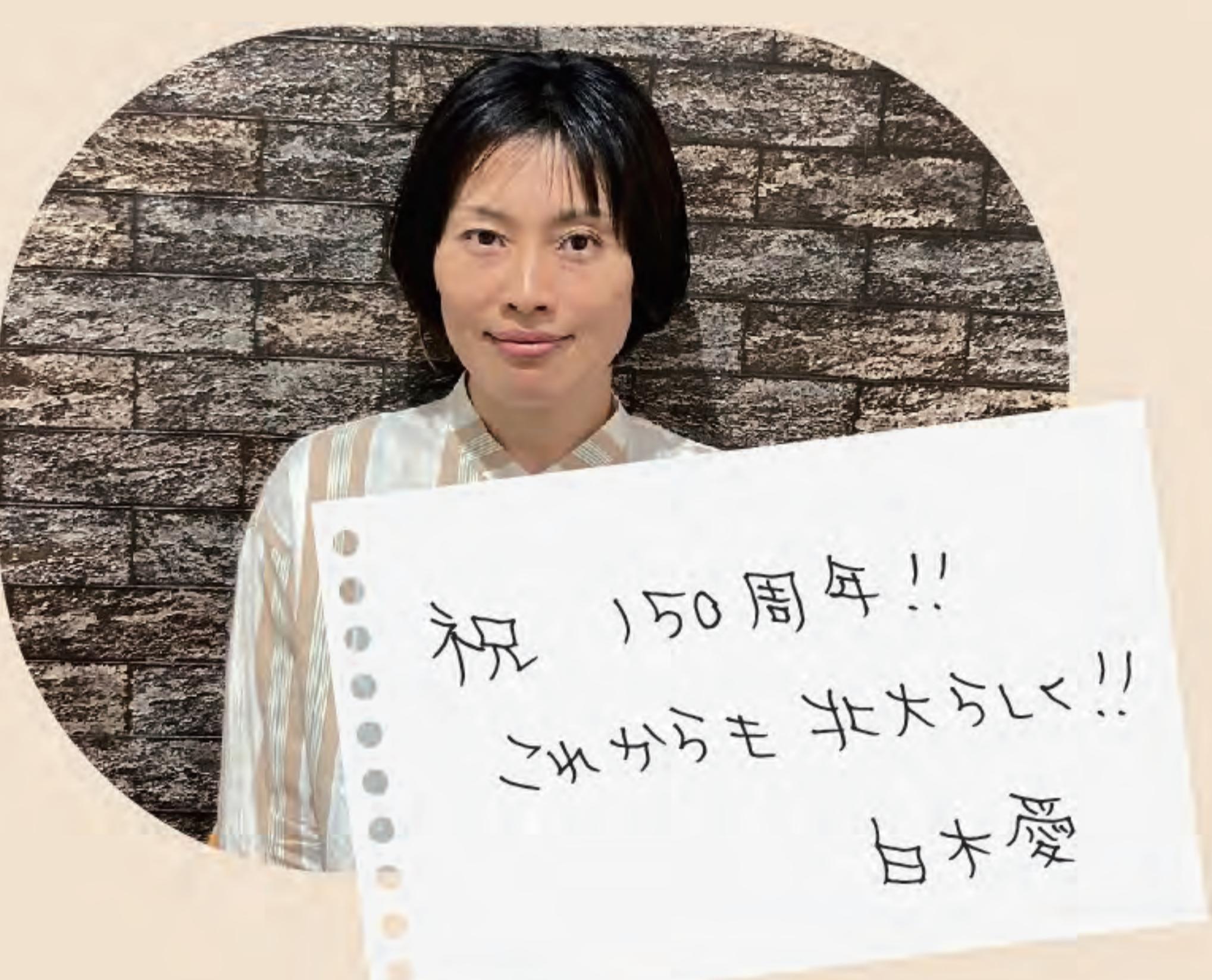


#### 『想いをカタチに』つなぐ相続アドバイザーズ 白木 愛 様

「北大」と聞いて少しよそしさを感じるくらいには卒業から時間が経っていて、それでも、ごく稀に通る構内は学生たちのエネルギーに満ちていて、自分の過ごした学生時代が鮮やかに蘇ってきます。150年もの間、連綿と受け継がれてきた北大魂がこれからも輝くものでありますように!北大で出会った先輩と一緒に始めたこの会社で、みなさんの「北大のために遺したい」そんな思いをサポートできたら嬉しいです!

#### Profile

2002年文学部人間システム科学科卒。精神保健福祉士の資格を取得するが、障害者の社会復帰支援には多角的な支援が必要との思いから司法書士を目指す。



祝 150周年!!  
これからも北大らしく!!  
白木 愛

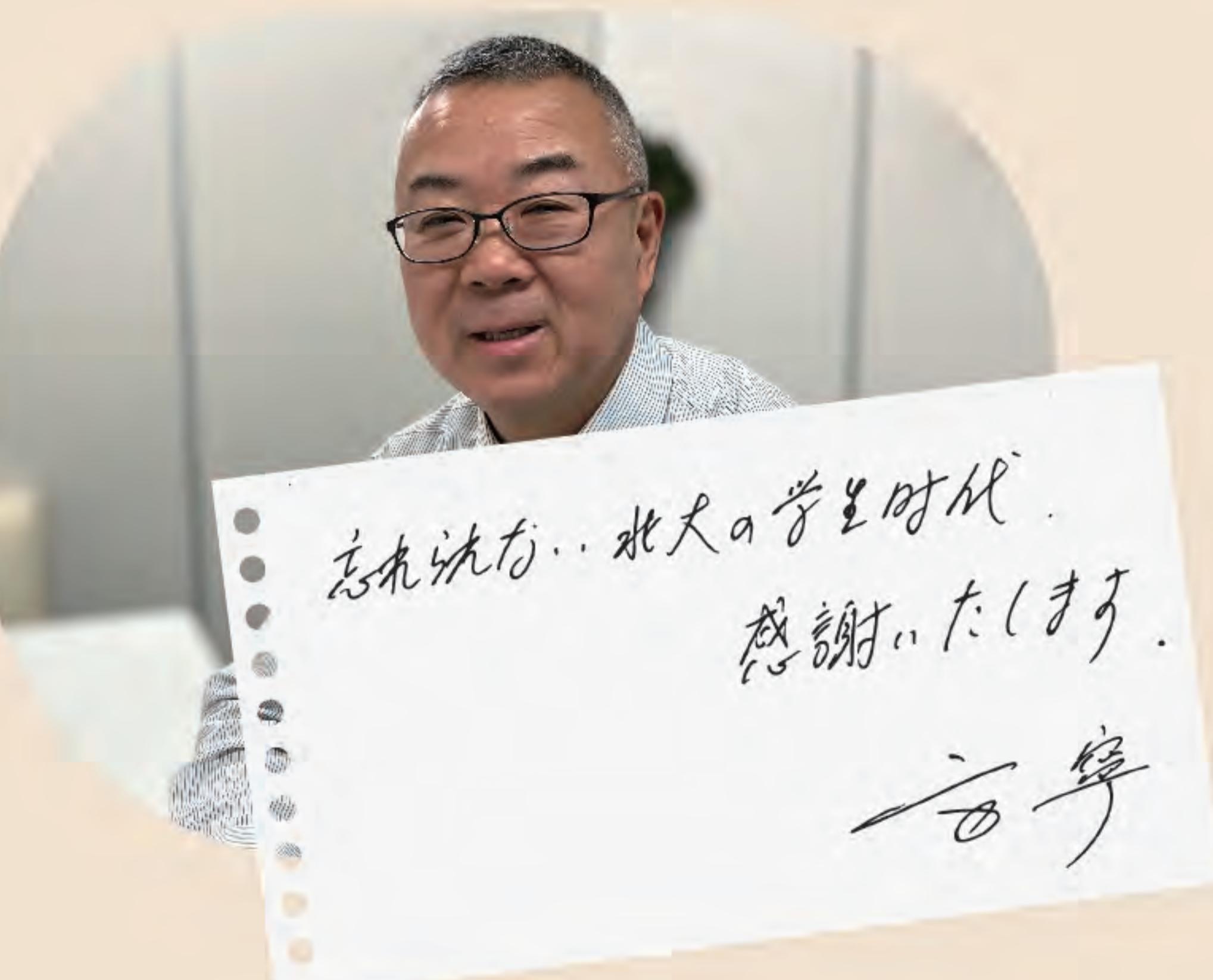


#### 北海道エコビレッジ推進プロジェクト設立に参画 真屋 幹雄 様

クラーク博士が遺された「Be ambitious」の教えは、私の心にも生きています。この教えを受け継ぐ皆さんの中から、誰もが応援したくなるようなambitiousな活動が、どんどん生まれてくることを期待しています。

#### Profile

1982年法学部卒。元北海道職員。2012年NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクトの設立に参画。



忘れがち北大の学生時代  
感謝いたします。  
方寧

#### 祖父が学んだ北大を夢見て 方 寧 様

30年前に北大に入学し、バイトと学習に明け暮れました。北大での3年間は自分の人生に大きな影響を与えました。私の祖父(方悌)は明治40年に東北帝国大学農科大学に入学し、大正2年に中国へ帰国、その後、浙江大学農学院の教授に就任しました。祖父のおかげで私が北大に進学できたかもしれません。北大には感謝の気持ちいっぱいです。

#### Profile

1996年大学院工学研究科衛生工学修了。株式会社スタンダム入社。2006年インフォジョイント株式会社設立。

寄附申込みフォーム内「応援メッセージ」欄に是非お言葉をお寄せください! ▶▶

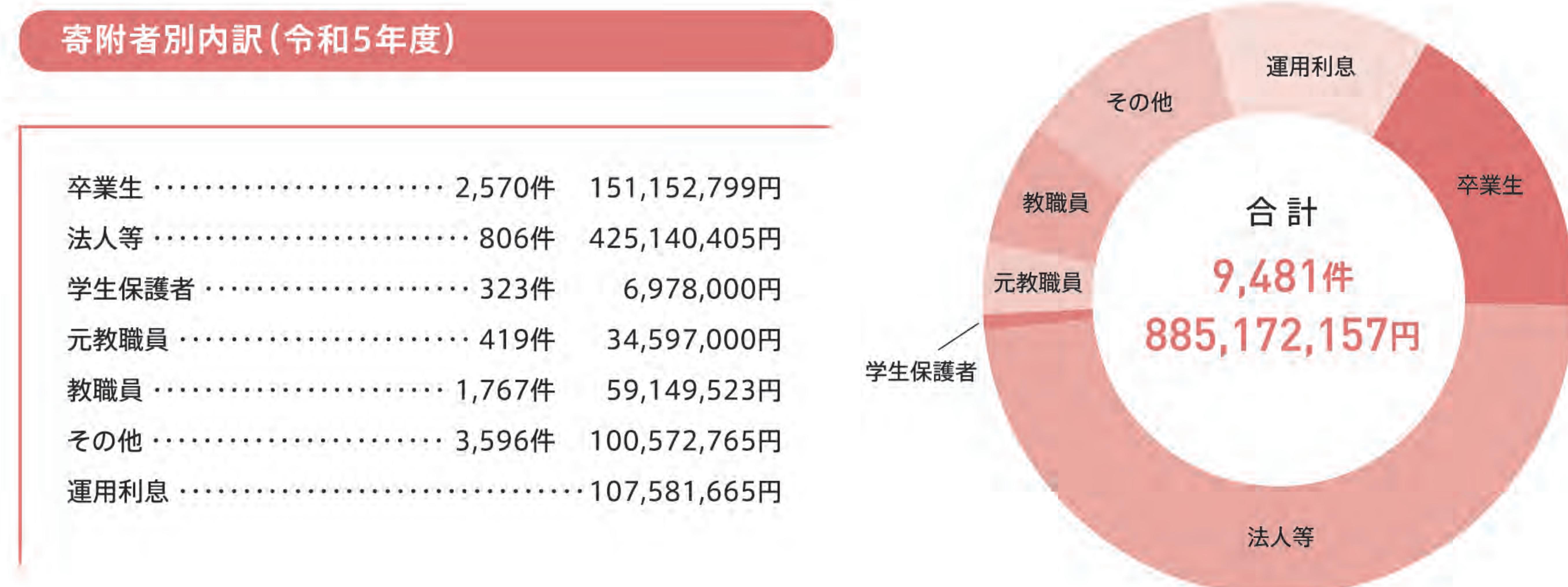
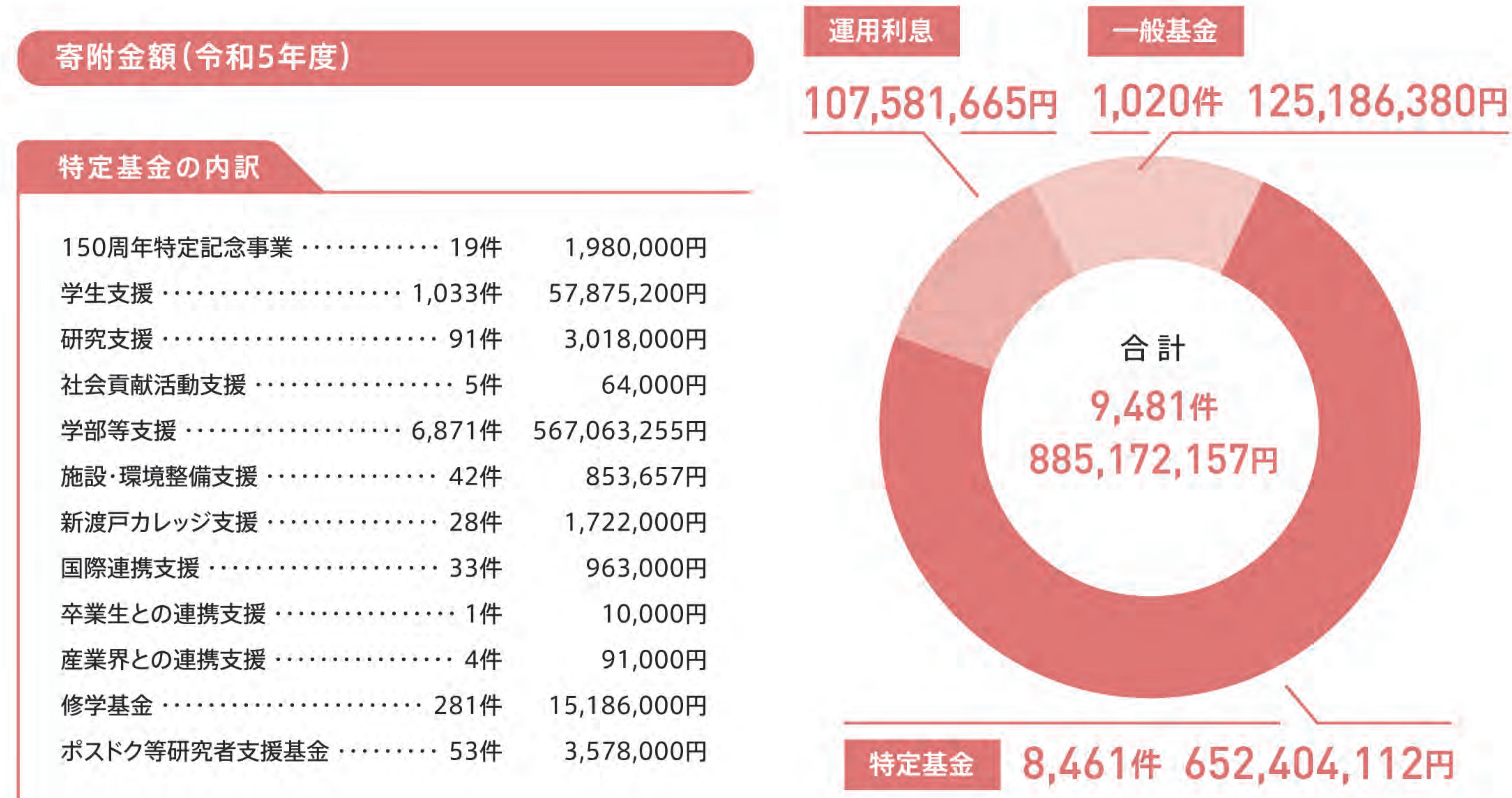


# 北大フロンティア基金

[令和5年度の概要]

北大フロンティア基金は、平成18(2006)年、本学創基130年を機に、教育研究の一層の充実と自主性・自立性を發揮する大学としての使命を果たすために創設され、多くの方々からのご寄附に支えられています。令和5(2023)年度、北大フロンティア基金には、皆様の本学へのご理解と温かいご支援により約7.8億円の寄附を賜りました。心よりお礼を申し上げます。皆様からのたくさんのご寄附は、奨学金制度の充実や留学生への支援、研究活動、各学部の活動等、寄附の目的に沿って活用させていただきます。

## 受入状況



## 北大フロンティア基金創設時からの累計

申込件数	47,341 件
寄附金額	7,474,206,542 円

(うち運用利息 368,195,969円)

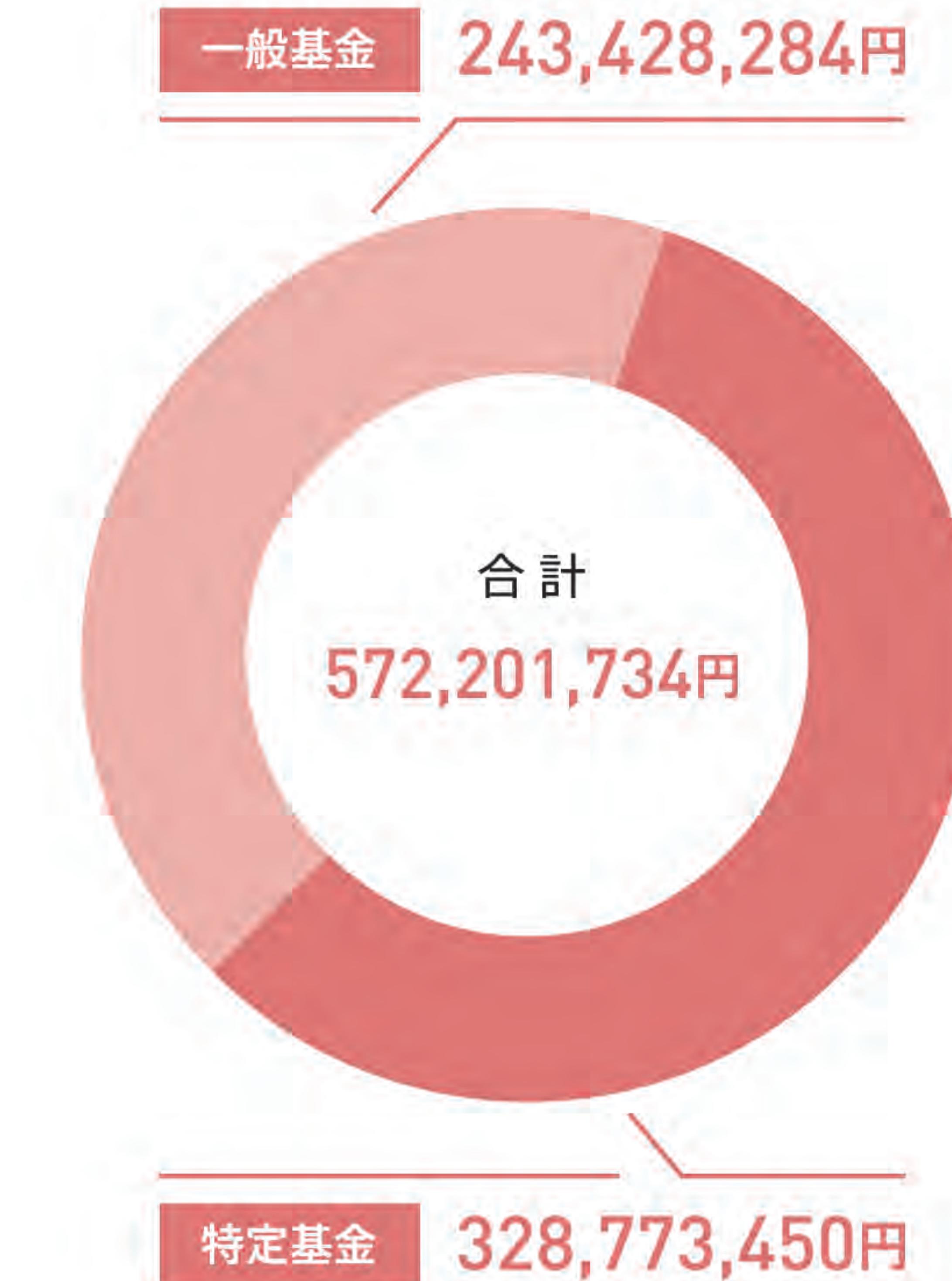
## 令和5年度の受入

申込件数	9,481 件
寄附金額	885,172,157 円

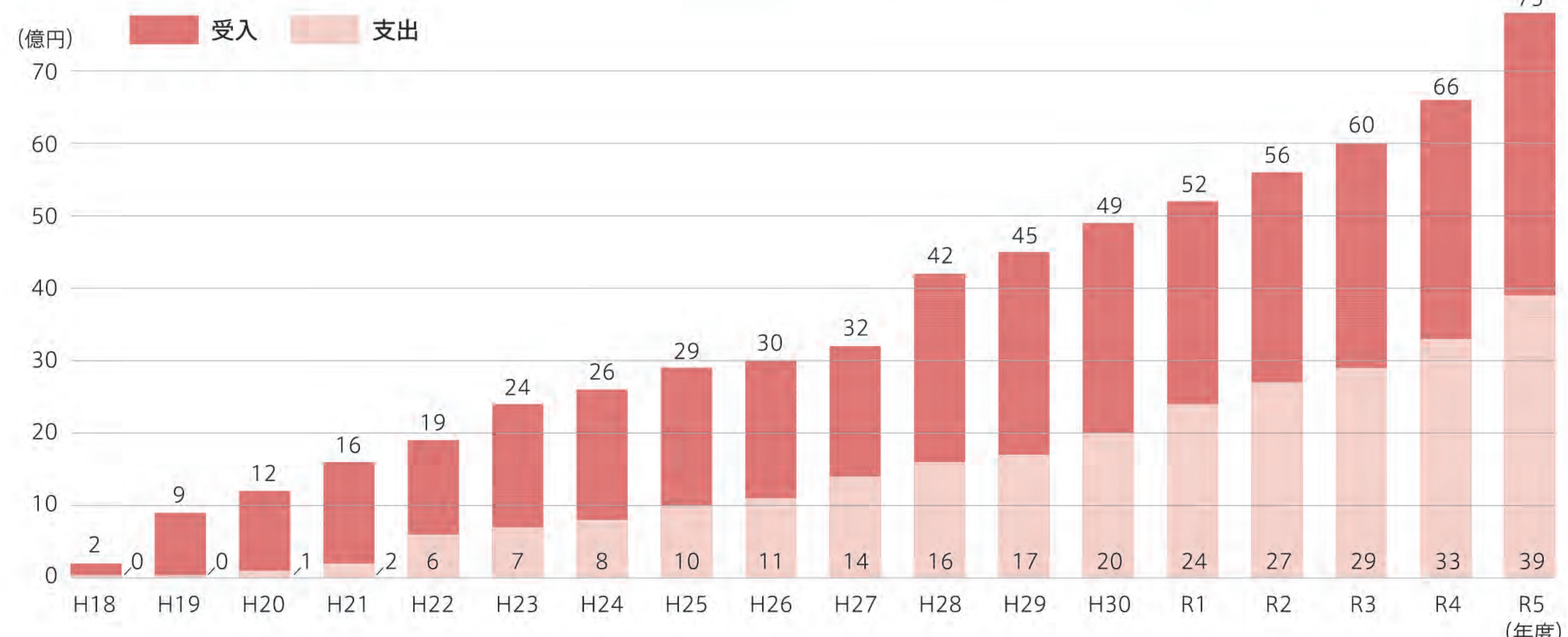
(うち運用利息 107,581,665円)

## 支出状況(令和5年度)

特定基金の内訳	金額
学生支援	82,214,061円
研究支援	10,927,848円
社会貢献活動支援	2,647,135円
学部等支援	209,475,856円
施設・環境整備支援	15,242,000円
新渡戸カレッジ支援	240,000円
国際連携支援	6,550,000円
卒業生との連携支援	676,550円
ポスドク等研究者支援基金	800,000円



## 受入・支出累計額の推移



# 創基150周年記念募金

2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。

2023～2026年度の4年間、北大フロンティア基金は「創基150周年記念募金」として装いを新たにし、皆様からの寄附を募集しています。大学全体への支援はもちろん、未来社会の開拓者（イノベーション・フロントランナー）を育てる「人材育成事業」、SDGs達成やDEI推進に関する取り組みを地域に伝える場を形成する「古河講堂の改修・利活用事業」、こどもたちの心の豊かさ、創造力、好奇心を育む「こども本の森事業」の3事業について特定基金を立ち上げております。

大学全体への支援はこちらから▶



## 人材育成事業 「イノベーション・フロントランナー」の育成



年間1.5億円×10年→総事業費15億円【支援規模は毎年600名を想定】

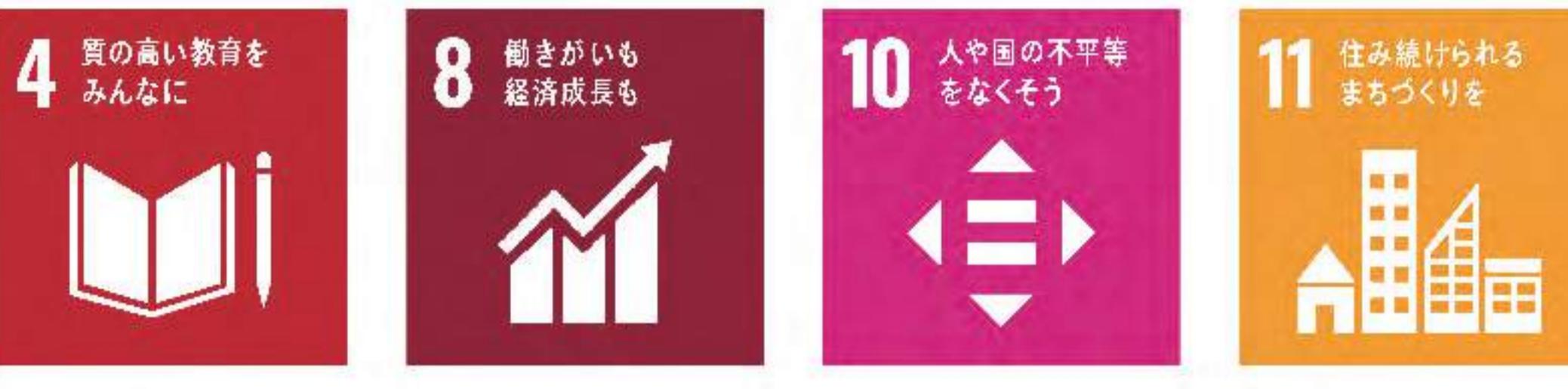
「学びを、キャンパスから外へ、地域社会や世界のフィールドへ広げる」をコンセプトに、もっと学びたい、研究したい、視野を広げたいと願う学生を支援します。北海道のフィールドを活用し、自身の専門知識と社会の課題を結びつける共創教育や、新渡戸カレッジを中心としたグローバル教育、そして早い時期からのアントレプレナーシップ教育などを通じ、学生の探究意欲や進学意欲を一層引き出すために、学部・大学院一貫の人材育成事業を構築します。

人材育成事業への支援はこちらから▶



Ambition to enlighten the world

## 古河講堂の改修・利活用事業



### 総事業費10億円

本学は、1906(明治39)年に古河家から施設整備費の寄附を受け、教育設備が充実したことにより、前身の札幌農学校から大学に昇格した歴史があります。それらの施設の大半は解体撤去されましたが、唯一現存する古河講堂は国の登録有形文化財として保全されています。本事業では寄贈当時の古河講堂を復元し、SDGsの達成やDEI推進に取り組む北海道大学を地域に伝える「場」として利活用します。また、こども本の森や総合博物館などと連携し、青少年が本物の知にふれられる「場」を形成し、未来社会の創造に貢献します。

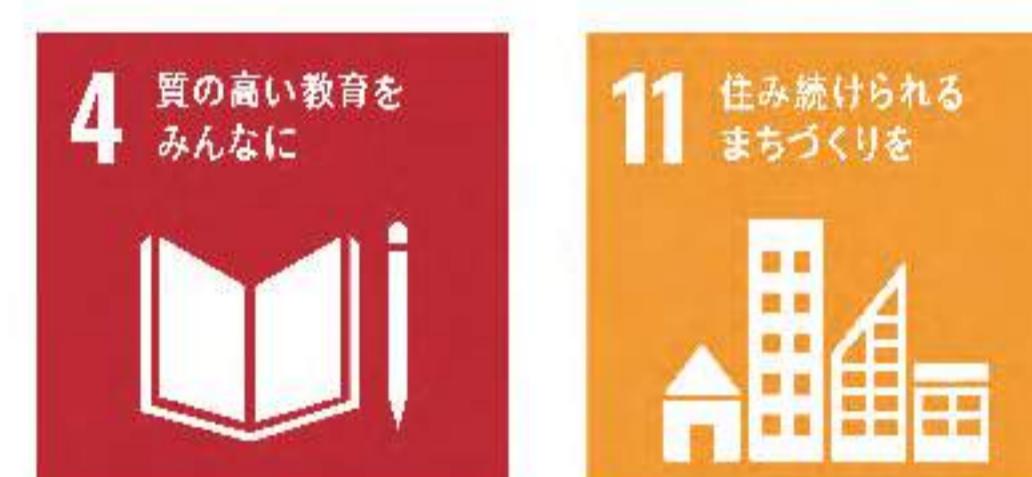
古河講堂の改修・利活用事業への支援はこちらから▶



復元後の外観イメージ



古河講堂の現状(建物全体に広がる腐朽とひび割れ)



## 「こども本の森」事業

### 総事業費5億円

世界的建築家の安藤忠雄氏が自治体へ寄贈されている「こども本の森」について、本学構内に建築するとの提案をいただきました。「こども本の森」には、「こどもたちに多様な本を手に取ってもらい、無限の想像力や好奇心を育んでほしい」「自発的に本の中の言葉や感情、アイデアに触れ、世界には自分と違う人や暮らしがあることを知ってほしい」という安藤氏の想いが込められています。この度本学は、安藤氏から『ボイーズ・ビー・アンビシャス』という精神がある北海道大学はシンボリックな場所。日本だけではなく、世界に飛び立つこどもたちが一人でも出てくれれば」との想いを受け、2026年夏を目指し「(仮称)こども本の森」を開設します。2023年11月には、本学、安藤忠雄建築研究所、札幌市の三者で基本合意書を締結しました。運営にあたっては札幌市と本学が協力し、こどもたちの心の豊かさ、創造力、好奇心を育み、成長の糧となる場として機能できるよう取り組みます。



左:資金清博総長、中央:安藤忠雄氏、右:秋元克広札幌市長

こども本の森事業への支援はこちらから▶



創基150周年記念事業のほかにも、学部・研究院単位の教育研究活動支援、学生の修学支援や課外活動支援、環境整備支援など、多様な支援メニューをご用意しております。

### 学部・大学院等を応援する

#### ◆ 学部等支援

ご指定いただいた「学部(大学院)」「学科(専攻)」「研究室(講座)」「附属施設」等の研究・教育環境充実を図ります。



医学部



工学部



理学部



農学部

### 学生を応援する

#### ◆ 学生支援

奨学金制度・顕彰制度のほか、課外活動・学生福利厚生施設等のさらなる充実を図ります。

#### ◆ 新渡戸カレッジ支援

グローバル社会で活躍できるリーダーの育成を目指す特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」を支援します。



#### ◆ 修学支援(税額控除対象)

意欲と能力のある学生が経済的理由で修学・進学を断念することなく、希望する教育を受けられるよう支援します。

### 国際連携を応援する

#### ◆ 国際連携支援

多様な国・地域・組織の人々との連携・協働を支援します。



### 研究者を応援する

#### ◆ 研究支援

若手研究者の基礎研究を支援します。

#### ◆ ポスドク等研究者支援(税額控除対象)

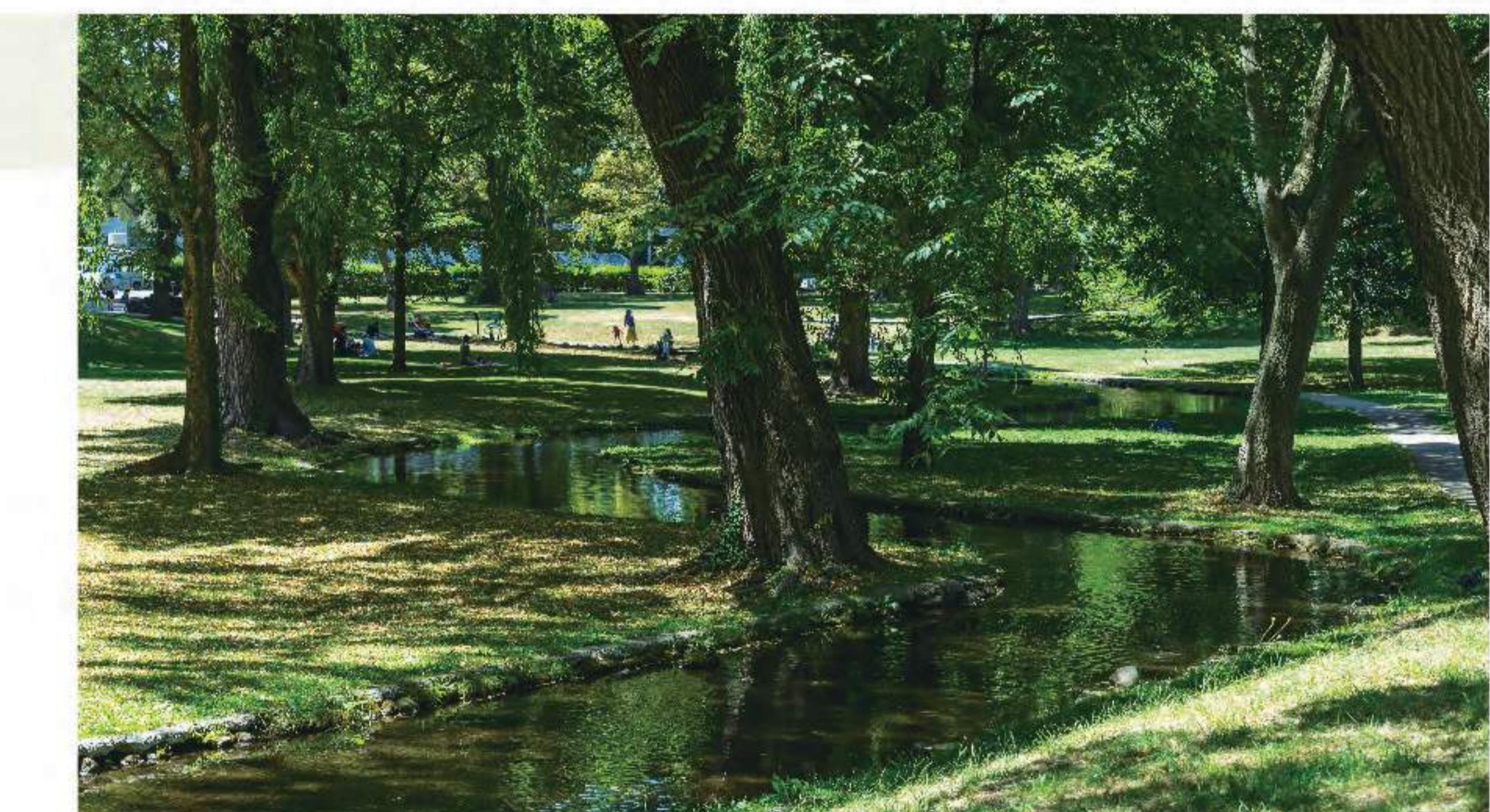
学生または不安定な雇用状態にある研究者(ポスドク等研究者)が安心して研究を続けられるよう支援します。



### キャンパスの維持・保全を応援する

#### ◆ 施設・環境整備支援

キャンパス緑化のほか、札幌農学校第2農場等、歴史的建築物を後世に伝える取り組みを支援します。



### 卒業生連携を応援する

#### ◆ 卒業生との連携支援

卒業生同士の交流や新たな出会いの機会創出を支援します。



### 社会貢献活動を応援する

#### ◆ 産業界との連携支援

教育研究環境を活用した産業界との連携強化を図ります。



#### ◆ 社会貢献活動支援

学術研究と研究成果の公開促進、市民公開講座等の充実を図ります。

## クラウドファンディング

北海道大学は、令和4年9月12日、日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービスを運営するREADYFOR 株式会社と業務提携を開始しました。令和5年度は、前年度から募集を継続していたものを含め10件のプロジェクトが目標金額を達成し、活動を開始いたしました。応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。プロジェクトの進捗状況については、READYFORのWEBサイト内にあります、各プロジェクトの「活動報告」ページに随時掲載してまいりますので、是非ご覧ください。国立大学を取り巻く環境が日々変わっていく中、クラウドファンディングを通して本学の社会的使命を真摯に伝えることで、卒業生、関係者ばかりでなく、地域住民の皆様、企業の皆様から、知の拠点として、本学をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。

### ポータブルエコーで未来のプロ野球選手たちに肘検診を行いたい。

- ◎ 4台のポータブルエコーを購入し、2024年3月31日までに計46回2,635名の選手の肘検診を行いました。



### 血清亜鉛値に代わる、「味覚障害」の新たな指標の樹立に向けた研究を！

- ◎ 「血清亜鉛値に代わる新たな指標の探索～唾液中の亜鉛要求性酵素の発現解析～」が、4学会学術合同大会(歯科薬物療法学会、口腔診断学会、口腔内科学会、口腔感染症学会)の「一般演題(口演)」にて大会長賞を受賞しました。
- ◎ どさんこオンライン市民公開講座にて「低亜鉛血症 口内炎や味覚障害」が公開されました。
- ◎ journal of Medical Case Reports(IF 0.628)にて2症例報告が公開されました。



### 北海道の地で待望の肺移植、実現へ！北大呼吸器外科の挑戦にご寄附を。

- ◎ 肺移植実施施設申請のため麻酔科医師および看護師による実地見学を行いました。



### 北海道の「避けられた外傷死」を撲滅するー外傷外科医育成プロジェクト

- ◎ 外傷手術手技講習会の開催、消化器外科医に特化した外傷手術講習会の開発、およびダメージコントロール手術と呼ばれる腹部外傷手術の基本手技をトレーニングするシミュレーターの開発を行いました。
- ◎ 海外の外傷手術を多く行っている病院に短期留学し、外傷手術を実践して学ぶプログラムに参加する医師の選考を行いました。



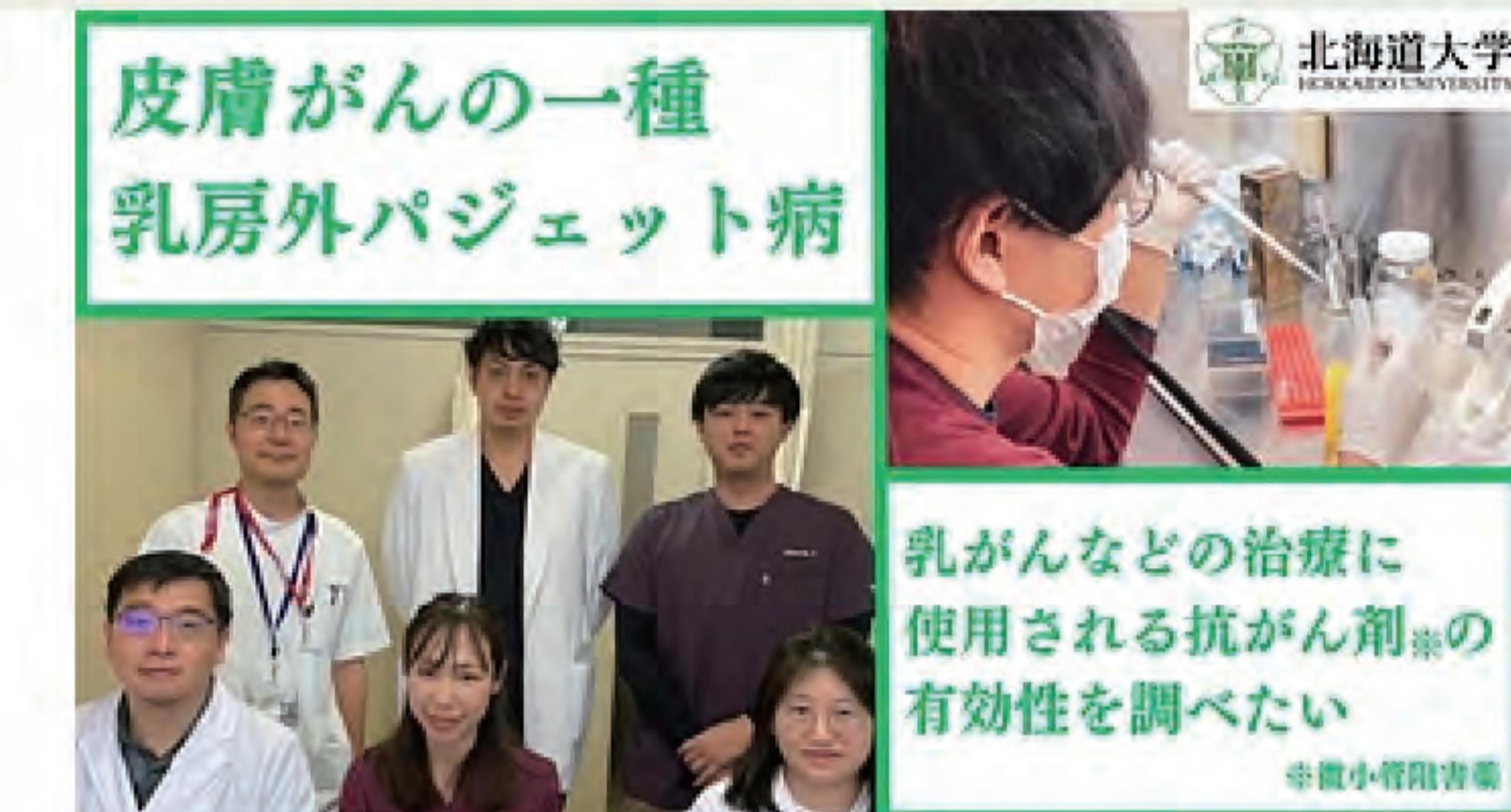
### 折りたたみ式入れ歯を開発し、開口障害がある方も顎義歯を使えるように

- ◎ 折りたたみ式入れ歯の試作品を開発しました。  
耐久試験の結果、改良品の製作に取り組む予定です。



### 希少がん「乳房外パジェット病」に対する、抗がん剤治験実施にご支援を

- ◎ 治験薬GMPに従い、2023年度は60バイアルの治験薬を作成(ラベリング)しました。
- ◎ 2名の患者様が医師主導治験に登録され、治療を継続しています。



### 確かな医療を継続してとどけるために。若手口腔外科医の育成にご寄附を

- ◎ 2023年8月に「口腔腫瘍手術手技トレーニング」として「気管切開術・頸部郭清術・舌腫瘍切除術」を、2024年3月に「顎変形症手術手技トレーニング」として「下顎骨形成術・上顎骨形成術・顎関節パンピング・下顎関節突起切除術」を実施しました。いずれの研修でも、学内外から34名のインストラクター、研修者、助手が参加し、予定どおりの術式を習得しました。



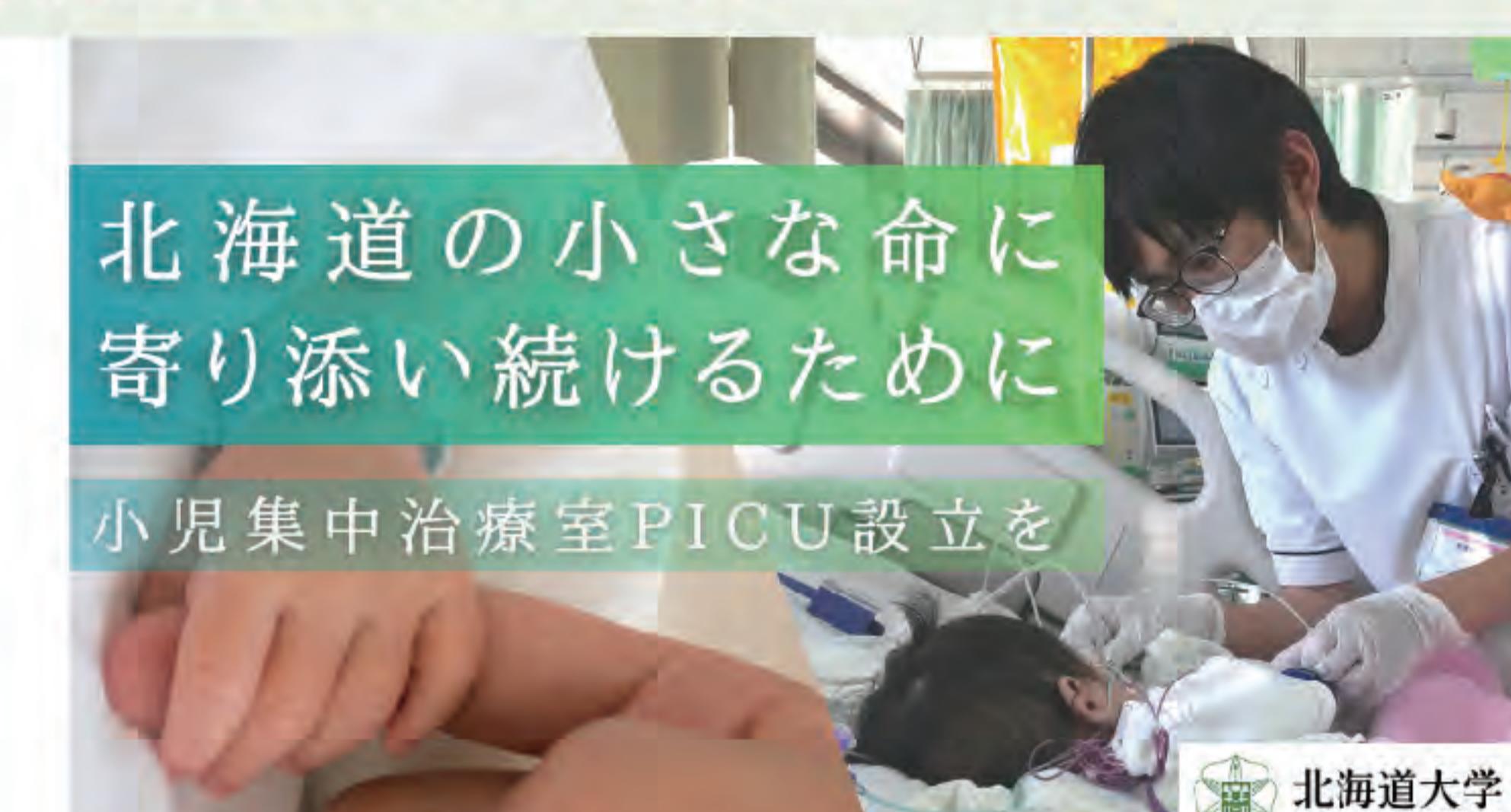
### 小児がん患者に治療を。BRAF遺伝子変異をもつ小児がんの臨床試験へ

- ◎ 臨床試験に登録された8名の患者様について、これまで負担いただいている臨床研究支援費用の大部分、および輸入費用の一部・関税費用の軽減が実現しました。



### 小さな命に寄り添い続ける。北海道で「小児集中治療室PICU」設立へ

- ◎ プロジェクトメンバー 泉 岳が日本集中治療医学会集中治療科専門医試験に合格しました。
- ◎ 2024年5月開催の欧州小児心臓学会学術集会で2名の医師が小児集中治療関連の演題発表を行いました。



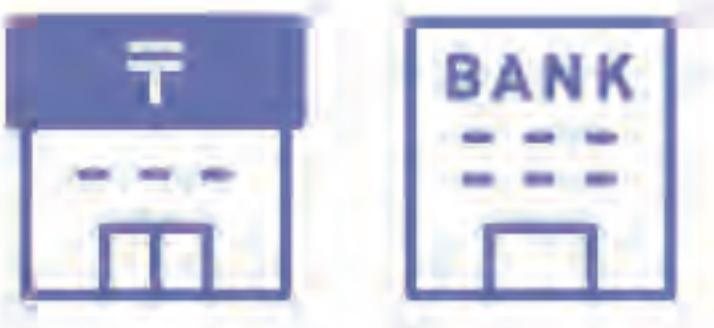
### 子どものことばとからだを育む「お外で読む絵本」を届けたい！

- ◎ 保育士・幼稚園教諭が絵本の読み聞かせをしながら運動指導も同時にできる、工夫がなされた絵本を制作しました。



# 寄附申込方法

## 郵便振替・銀行振込によるご寄附



北大フロンティア基金の「払込取扱票(振込通知書)」をご利用ください。

### ゆうちょ銀行・郵便局(口座振替・現金による払込)

北大フロンティア基金の「払込取扱票(振込通知書)」をご利用いただいた場合の「払込手数料」は、本学が負担いたします。詳しくは、ゆうちょ銀行・郵便局窓口でご確認ください。

### 銀行振込

銀行窓口をご利用の場合は、振込金額とは別に振込手数料を寄附者様にご負担いただくこととなりますのでご留意ください。北洋銀行・北海道銀行の窓口をご利用の場合は、振込金額に関わらず振込手数料として、1件あたり110円を寄附者様にご負担いただきます。なお、現金自動預金支払機(ATM)やネットバンキングをご利用の場合は、寄附者様の特定が困難となりますので、できる限り金融機関の窓口をご利用いただくか、お手続き前に、北大フロンティア基金ホームページ掲出の「寄附申込書」にご記載の上、メール、FAXまたは郵送でお送りください。

## クレジットカード決済によるご寄附



クレジットカード決済でお申込いただいた場合は、ご指定のカードにて自動引き落しをさせていただきます。寄附回数は、「毎月」「年2回」「年1回」「1回限り」から選択いただくことができます。申し込みから着金まで1~2カ月ほどかかる場合がございます。領収書の日付は着金日となりますのでご留意ください。

## コンビニ決済によるご寄附(個人 法人・団体)



コンビニ決済でお申込いただいた場合は、後日、決済代行業者より、コンビニエンスストア収納用のバーコード付払込取扱票を送付いたします。お手元に届きましたら、お近くのコンビニエンスストアに払込取扱票をご持参いただき、現金にてお支払い下さい。窓口でのお支払いから着金まで1カ月ほどかかる場合がございます。領収書の日付は着金日となりますのでご留意ください。

北大フロンティア基金寄附申込ページは[こちら](#)から

個人の方



法人・団体の方



# 税制上の優遇措置

## 個人からのご寄附

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)として財務大臣から指定されております。

### 1 所得税が控除されます。

寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限)から2,000円を引いた額を、所得税の課税所得金額から控除できます。「修学支援」及び「ポスドク等研究者支援」にご寄附の場合は、下記の「所得控除」または「税額控除」いずれか一方の有利な制度をご選択いただけます。

### 《税控除のしくみ》

#### 所得控除制度(北海道大学へのすべての寄附金が対象)

所得控除を行ったあとに所得税率を乗じるため、所得金額に対して寄附金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

(寄附金額※1 - 2,000円) × (所得に応じた) 税率  
を所得税額から控除

#### 税額控除制度

(「修学支援」及び「ポスドク等研究者支援」への寄附金が対象)

所得税率に関係なく所得税額から直接寄附金額の一定割合額が控除されるため、多くの場合、所得控除制度に対して減税効果が大きくなります。

(寄附金額※1 - 2,000円) × 40% = 控除対象額※2  
を所得税額から控除

寄附金控除  
シミュレーション▶



### 2 住民税が控除されます。

寄附をした翌年1月1日に本学を「寄附金税額控除対象法人等」として指定している地方自治体にお住まいの方は、寄附金額(その年の総所得金額の30%を上限)から2,000円を引いた額に対し、都道府県民税は4%、市区町村民税は6%を乗じた額が控除されます。(都道府県と市区町村双方の指定を受ける場合は10%となります。)

### 寄附金控除を受けるための手続き等について

寄附金控除を受けるためには、所轄の税務署へ所得税の確定申告書を提出してください。この場合、住民税の申告は不要です。確定申告をしない給与所得者又は年金所得者で、住民税の寄附金税額控除だけを受けようとする場合は、住所地の市区町村に申告してください。この場合、所得税の控除は受けられません。

## 法人によるご寄附(法人税の優遇)

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されております。ご寄附をいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

# 遺贈について

将来ご自身が遺される財産を本学の発展のために役立ててほしいとのお申し出をいただく機会が増えております。本学では、皆様のご意思をお預かりし、次の世代へとつなぎするため、北大フロンティア基金を通じての「遺贈」についてご案内しております。皆様の想いを確実に後世に残すため、本基金が皆様の将来設計の一助となりますと幸いです。

## ご生前

### 1 遺言によるご寄附について卒業生・基金室へご相談ください

### 2 遺言執行者をご指定いただきます

遺産の引渡しや登記などの手続きを行うときに、法律や財務、不動産登記などの知識が求められることがあるため、遺言執行者には弁護士、司法書士、行政書士、信託銀行などの専門家を指定されるケースが多いようです。

本学では下記の銀行・信託銀行と協定を結んでおり、お気軽にご相談ください。

北大フロンティア基金が提携している銀行・信託銀行 ●三井住友銀行 ●三井住友信託銀行 ●三菱UFJ 信託銀行 ●北洋銀行

### 3 遺言書の文言表記について確認がある場合がございます

法的に有効で執行できる遺言書を作成するため、遺言執行者から北海道大学に対して、遺言書の文言表記などについて確認が行われることがあります。

※ご本人の了承なく、遺言者の個人情報を遺言執行者と北海道大学の間で共有することはできません。

### 4 遺言書を作成いただきます

民法で定められた代表的な方法として、「公正証書遺言」と「自筆証書遺言」の2種類があります。相続時のトラブルを防止し、遺言の内容をより確実に実現するためには、「公正証書遺言」の作成をおすすめします。

## ご逝去後

### 6 遺言執行者へご逝去のお知らせをいただきます

遺言執行者にご逝去のお知らせが届くことで、遺言の執行が開始されます。お知らせがない場合は遺言書のご意思が実現されなくなるおそれがありますので、遺言執行者とご相談の上、ご家族や信頼できる方などから通知人を選び、あらかじめ遺言執行者へ連絡する手順を確認しておくことをお勧めします。

### 7 遺言書の開示があります

### 8 遺言執行と財産の引渡しがおこなわれます

北海道大学に遺贈いただいた財産には  
相続税が課税されません

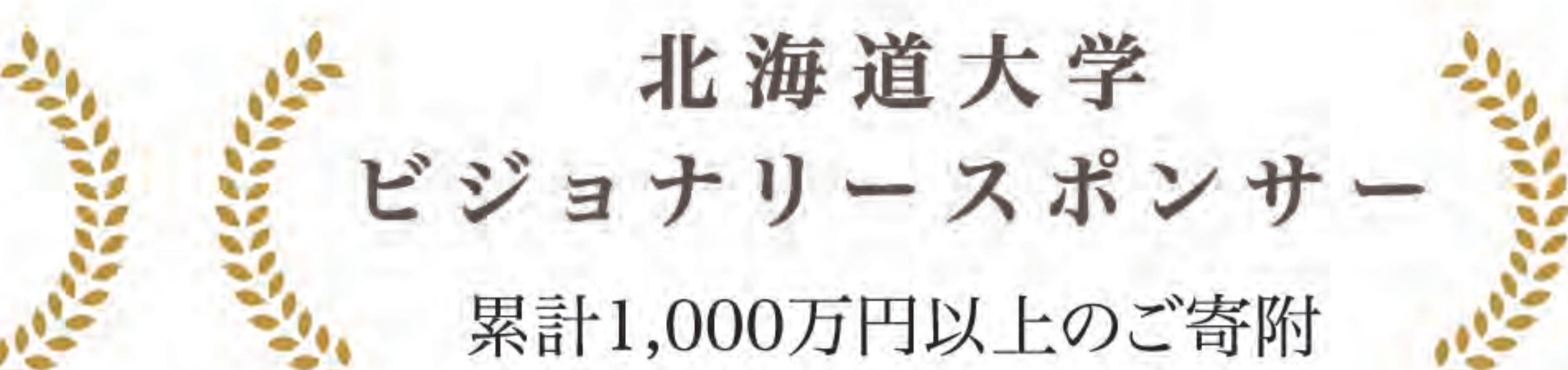
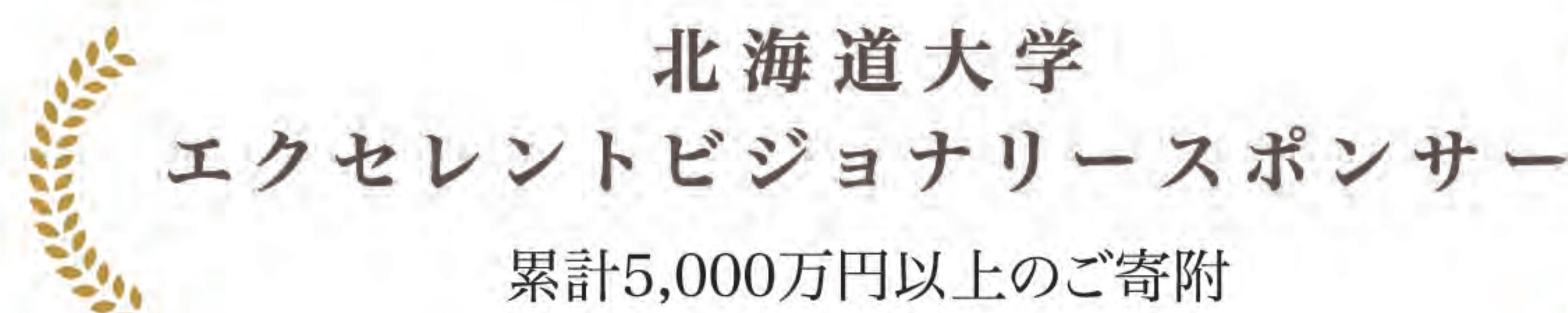
「遺贈のご案内」パンフレットの  
請求はこちらから ▶



# 寄附者の皆様への御礼

## 称号の贈呈

これまでのご寄附累計金額をもとに、次の称号を贈呈いたします(個人のみ)。



※累計の起算は北大フロンティア基金創設時(平成18年)からとなります

称号贈呈者への特典

記念盾の贈呈

入学式・卒業式、ホームカミングデーなどの本学公式行事へご案内

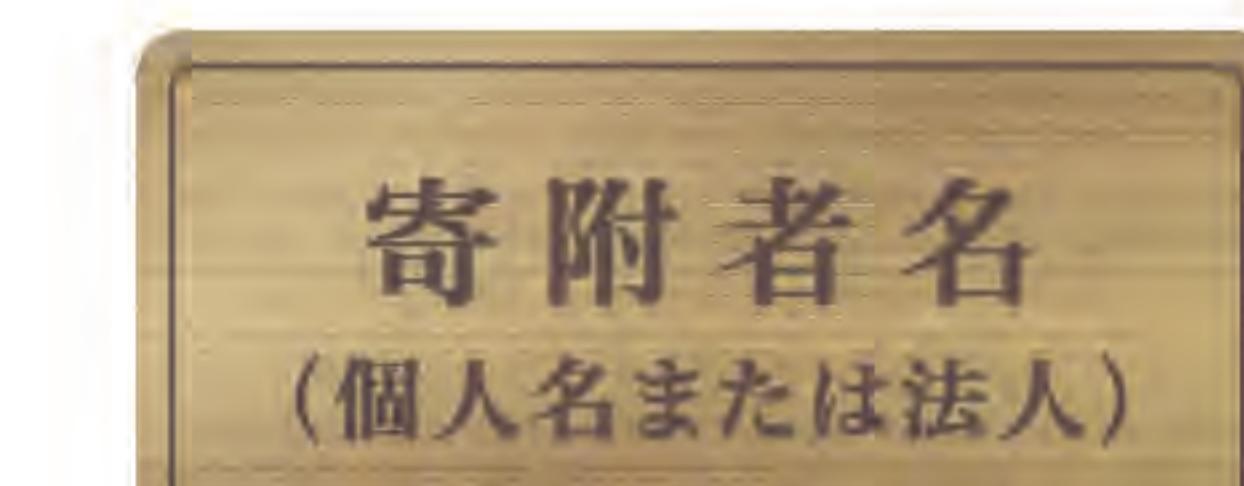
## 銘板の掲出

創基150周年を記念した銘板をご用意しました。銘板は、これまでのご寄附累計金額をもとに、本学総合博物館に掲出させていただきます(個人・法人共通)。

### Plate Type

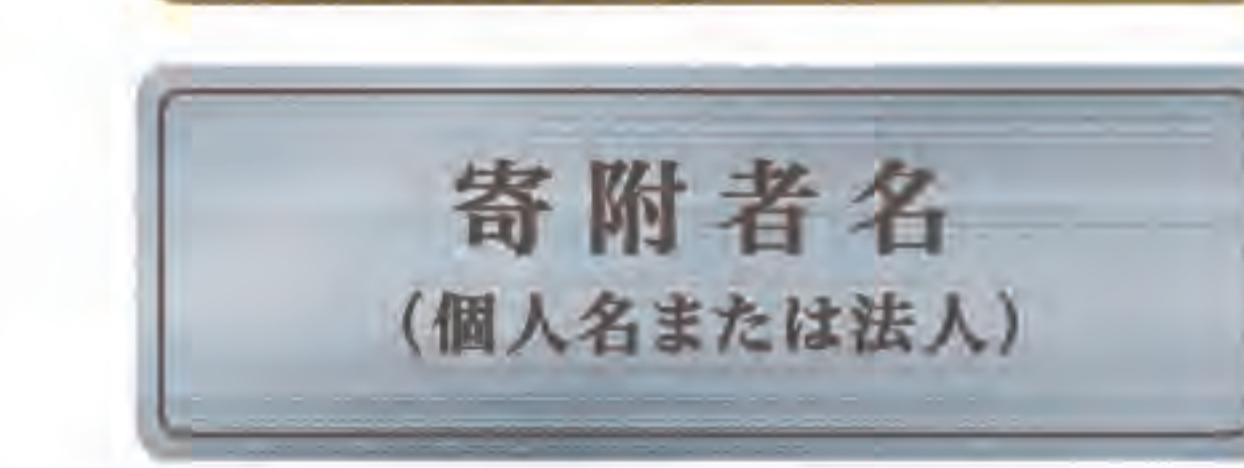


累計1億円以上のご寄附



ゴールド  
(個人名または法人)

累計1,000万円以上のご寄附



シルバー  
(個人名または法人)

累計500万円以上のご寄附



ブロンズ  
(個人名または法人)

累計100万円以上のご寄附

※既存のオリジナル銘板(ホワイト)は累計20万円以上が対象です

## 創基150周年記念募金限定「150アニバーサリーサポーター」

創基150周年記念募金期間中(令和5年3月1日～令和9年3月31日)に1回50万円以上のご寄附を賜った方には「150アニバーサリーサポーター」として記念品を贈呈します(個人のみおひとり様1回限り)。

## その他の御礼

御礼	個人	法人
レザートレイ	10万円以上	
マルチクロス	1万円以上10万円未満	
広報誌へのご芳名掲載	掲載を希望されるすべての寄附者 北大クラウドファンディングへのご寄附については掲載しておりません。	

このほか、寄附額に応じて、冠基金とすることが可能です。また、各学部にて特典をご用意している場合がございます。



北大フロンティア基金へご寄附を賜りました皆様へ、感謝の気持ちをお伝えさせていただきました。

## 紺綬褒章の伝達

岩崎 卓夫 様(令和5年4月29日) 上田 昭平 様(令和5年7月22日)

※紺綬褒章は、公益のために私財(個人の場合500万円以上、法人の場合は1,000万円以上)を寄附した方に国から褒章を授与する制度であり、国及び地方公共団体の他に指定された「公益財団」も対象となります。本学では、平成29年11月以降の対象者に対し、ご意向を伺い推薦を行っています。

## 感謝状の贈呈



加藤 元 様(令和5年5月25日)



アジア航測株式会社 様(令和5年6月28日)



アサヒビル株式会社 様(令和5年6月30日)



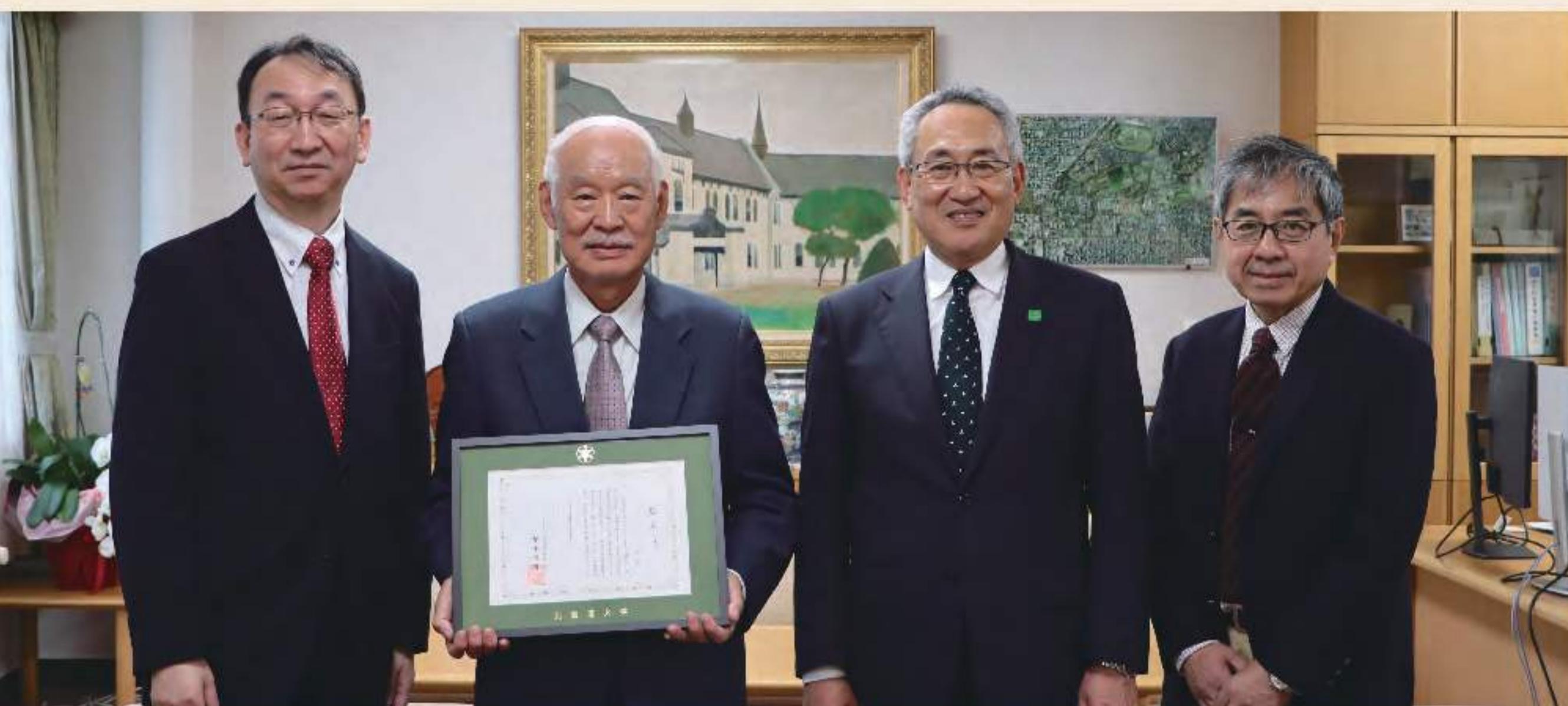
一般財団法人砂防・地すべり技術センター 様(令和5年7月19日)



東原 俊郎 様(令和5年8月30日)



一般社団法人札幌農学同窓会 様(令和5年9月29日)



石山 喬 様(令和5年9月30日)



株式会社日立製作所 様(令和5年12月13日)



柏木 道彦 様(令和6年1月10日)



株式会社濱野建材店 様(令和6年1月16日)



真屋 幹雄 様(令和6年1月26日)



北海道厚生農業協同組合連合会 様(令和6年4月10日)



一般社団法人北海道CGCみどりとこころの基金 様(令和6年4月11日)



横山 清 様(令和6年4月11日)



中川 翼 様(令和6年4月16日)

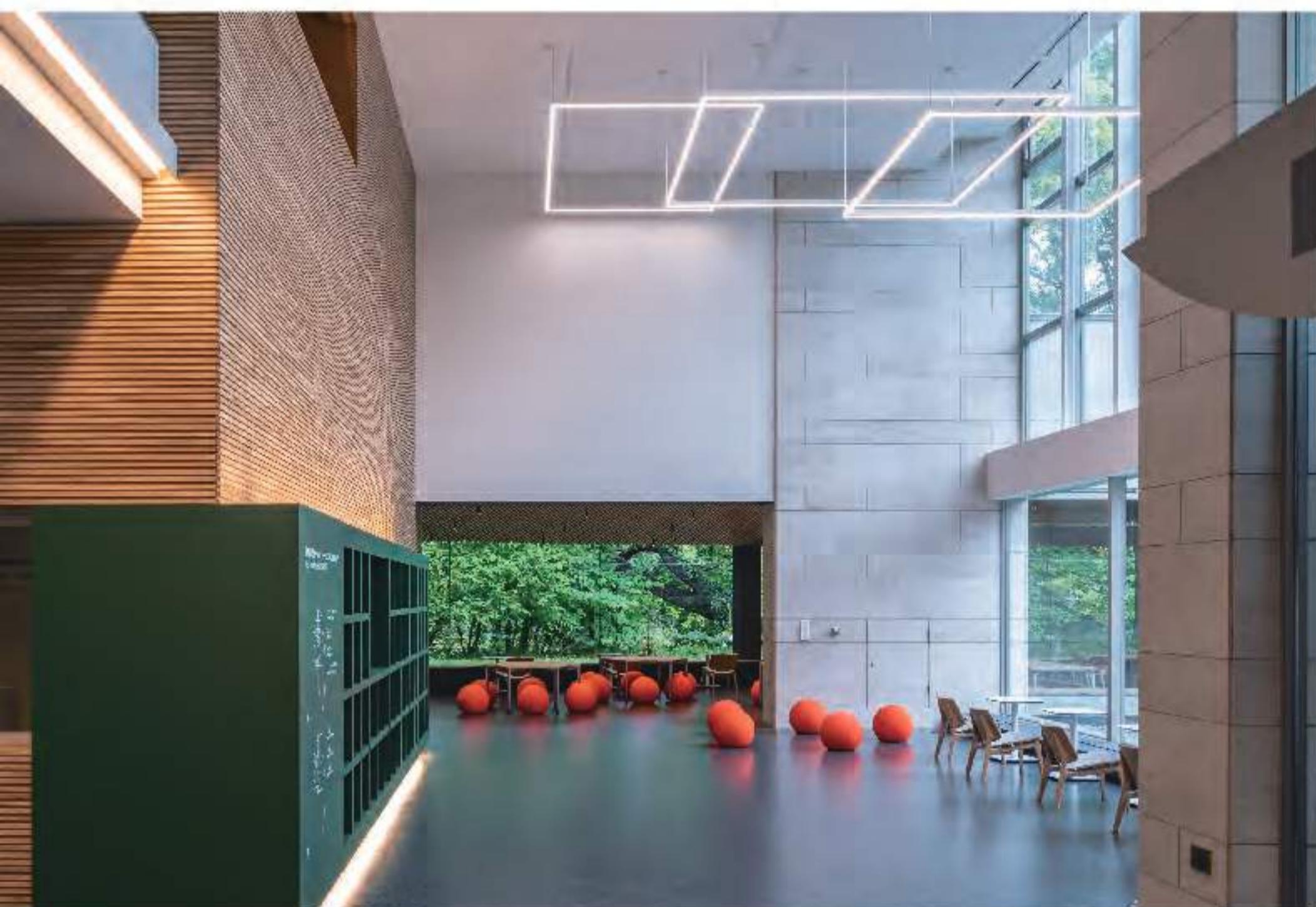
贈呈式でのお渡しが叶わなかった方々にはご郵送とさせていただきました。

矢ヶ崎 啓一郎 様、松川 英文 様

※()内の日付は贈呈日

# 150th

HOKKAIDO UNIVERSITY



表紙・裏表紙写真 北海道大学オープンイノベーションハブ エンレイソウ

撮影者 酒井広司

北海道大学 社会共創部広報課 卒業生・基金室

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学 百年記念会館内

Tel 011-706-2017 E-mail [kikin@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:kikin@jimu.hokudai.ac.jp)

Fax 011-706-2010 Web <https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

北海道大学 東京オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー10階

TEL/FAX 03-3211-2055

令和6(2024)年9月発行